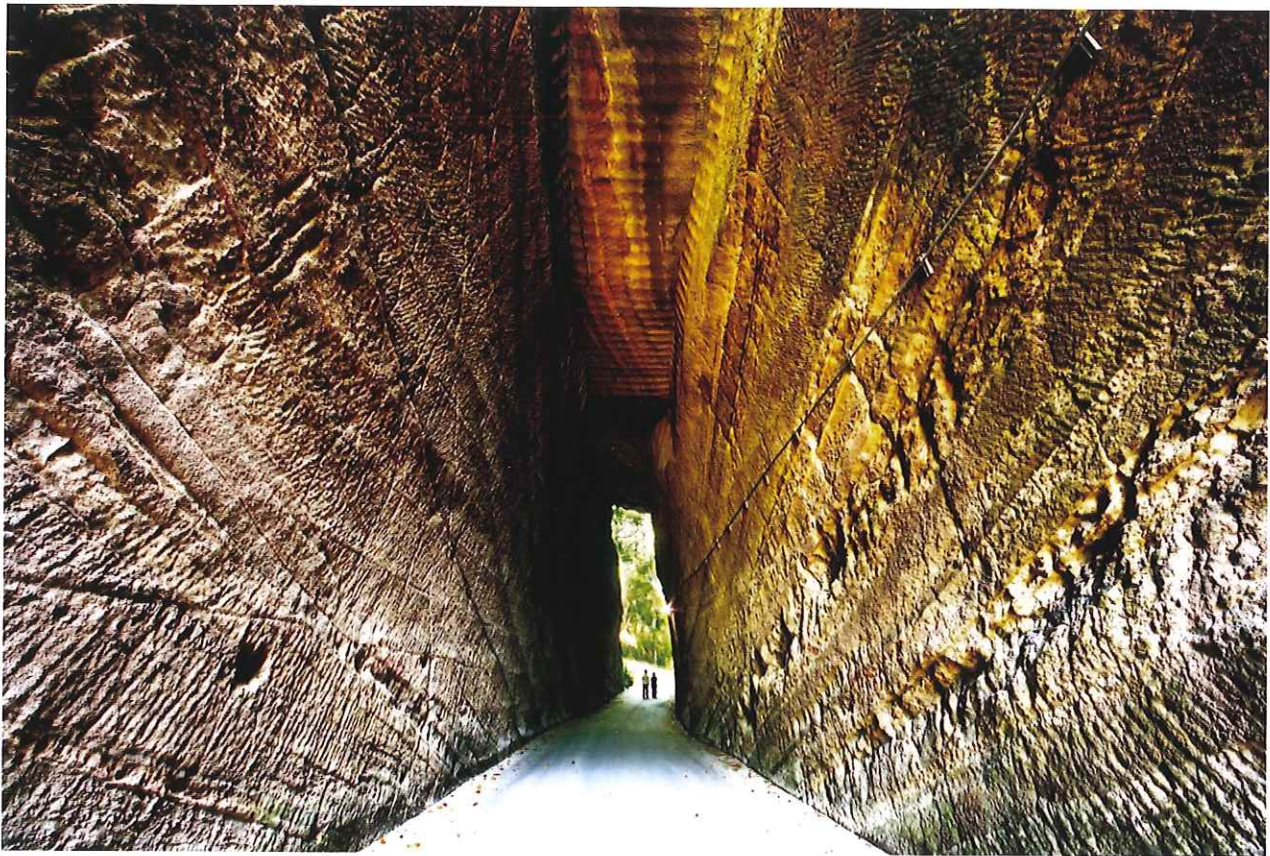




消防千葉

2019 No.568 2019年4・5月号

令和元年5月1日 編集兼発行人
千葉県市原市菊間 783-1
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL 0436 (37) 1710
郵便番号 290-0007
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



燈籠坂大師の切通しトンネル（富津市萩生）君津支部

巻 頭 言

「総合的な防災力を高め、地域を守る」

千葉県防災危機管理部長 岡本 和貴



消防職員、消防団員の皆様には、火災や風水害などの様々な災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守るため、昼夜を問わず献身的に御尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、昨年は西日本の7月豪雨をはじめ、大阪北部地震、北海道胆振東部地震など多くの災害が発生しました。また、猛暑が続き、熱中症患者が増加したことに加え、台風が例年にない動きを見せるなど災害が大規模化、多様化しています。

今後は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、自然災害だけでなくテロ災害への対応など、県民の安全・安心に対する関心は高まっており、消防に寄せられる期待は大きくなっています。

このような災害発生時の被害を最小限にするためには、県民が災害から自らを守る「自助」、近隣住民が協力しながら地域を守る「共助」、県や市町村等による「公助」が一体となって防災対策に取り組むことが重要です。

首都直下地震など大規模災害の発生が懸念されており、少子化による人口の減少及び高齢化が進展していく中、県では、常備消防体制の強化を図るため、平成31年3月に千葉県消防広域化推進計画を再策定し、消防の広域化の実現に向けた取り組みを進めていくこととしています。

さらに、総合的な防災力を高めるため、常備消防体制の強化とともに、地域防災力の中核となる消防団や自主防災組織の充実強化など、消防防災体制の整備に取り組んでまいります。

また、本年4月、市原市に移転・開校した消防学校において、先進の訓練施設を活用した消防職員や消防団員に対する実践的能力の向上を図るとともに、企業や自主防災組織、県民の防災教育や訓練を通じ「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の向上に努めてまいります。

今後も、県民、事業者、自主防災組織などと一丸となり、地域防災力の向上を図るための施策を推進してまいりますので、消防関係の皆様方におかれましても、引き続き、地域住民の安全・安心を守るため、一層の御尽力をお願い申し上げます。

結びに、消防防災体制の強化、消防行政のより円滑な推進のため、御指導御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、就任の御挨拶とさせていただきます。

千葉県消防学校の開校

市原市内に建設を進めてきた「千葉県消防学校」の整備が完了し、平成31年3月22日（金）に、落成式が行われ、本年4月に開校となりました。

これまでの消防学校は、昭和46年 千葉市中央区仁戸名町に設置され、すでに48年が経過しており、建物や訓練施設の老朽化が著しく、建て替えが急務となっていたことから、整備に向けた様々な検討を行い、平成28年度から建設工事に着手しました。

新たな消防学校は、敷地面積約62,000㎡（約1.6倍）、建物延面積約16,000㎡（約2.3倍）と、これまでに比べ大幅に増加しています。

本校のランドマークである高さ40mの総合訓練塔の内部では、AFTによる実火消火訓練や、模擬家屋を使った火災調査や火災判定の訓練を実施することができます。

また、近年、複雑・多様化する災害に対応するため、震災による倒壊建物やがれき等の狭隘空間からの救助訓練のほか、水没した車両やマンホールへの転落事故などを想定した救助訓練など、様々な実戦的訓練ができる施設が充実しています。



教育棟



市街地救助訓練塔



総合訓練塔 救助訓練塔



震災訓練場

平成30年度 千葉県消防協会定時理事会・臨時評議員会の開催

平成31年度事業計画・収支予算等を議決

平成31年3月15日(金)午後4時から千葉県消防協会定時理事会が千葉市内で開催されました。石橋 毅会長の挨拶の後、平成30年度収支補正予算、平成31年度事業計画、収支予算など6議案について審議が行われ、全議案について理事会の議決を得、3月26日(火)午前11時から臨時評議員会で全議案とも原案どおり承認及び決議されました。

また、議決された議案等並びに平成31年度千葉県消防協会事業計画、主要行事予定等は次の通りです。

◆ 議 案 (定時理事会)

議案第1号：平成30年度(公財)千葉県消防協会
収支補正予算について

議案第2号：平成31年度(公財)千葉県消防協会
事業計画について

議案第3号：平成31年度(公財)千葉県消防協会
収支予算について

議案第4号：平成31年度(公財)千葉県消防協会
の資金調達及び設備投資の見込みを
記載した書類について



定時理事会

議案第5号：(公財)千葉県消防協会の主たる事務所の移転について

議案第6号：(公財)千葉県消防協会の評議員会の開催について

◆ その他・報告事項

○平成30年度職務執行の状況について

○平成31年度(公財)千葉県消防協会の主要行事予定について

○第24回全国女性消防操法大会について

令和元年11月13日(水)

会 場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場

○第25回全国女性消防団員活性化青森大会

令和元年9月19日(木)～20日(金)

会 場：「マエダアリーナ

(新青森県総合運動場)」



臨時評議員会

平成31年度事業計画

(公財) 千葉県消防協会

近年の自然災害は多様化・大規模化しており、東日本大震災以降も、地震、集中豪雨、台風、火山噴火、豪雪等により想定外の災害が多発し、全国各地に甚大な被害をもたらしています。昨年も「平成30年7月豪雨」や「北海道胆振東部地震」などの大規模な自然災害が発生し、今後についても、首都直下地震や南海トラフ地震などによる大規模な被害をもたらす地震の発生が危惧されているところです。

そうした中で、消防防災の要である常備消防及び消防団の一層の充実強化が求められており、当協会としては、平成25年に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨を踏まえて、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化を図っていく必要があります。平成31年度は、同法の趣旨を踏まえて、引き続き公益目的事業や相互扶助事業など、以下の事業を実施します。

なお、第27回全国消防大会が2020年に千葉県消防学校で予定されているため、開催に向けて必要となる調整などを日本消防協会や県等と行っていきます。

I 公益目的事業

1. 防災思想普及事業

県民一人ひとりが、常日頃から防災に対する関心と初期消火や応急救護等、適切な活動を身に付けられるよう、防災知識と技術の普及啓発、防災訓練の充実、防火組織の活動促進等を図る。

(1) 機関紙「消防千葉」を発行し、消防防災活動への理解、協力を得るとともに、各地の常備消防・消防団の活動を掲載紹介し、県民の消防活動に対する理解を深める。

年8回／各5000部発行

(2) 「千葉県消防操法」(第五次改訂版)を頒布し、千葉県消防操法の技術の向上に資する。

(3) 千葉県と協力して、春秋2回の全国火災予防運動及び第40回九都県市合同防災訓練・中央会場を実施する。(2019.9.1船橋市)

(4) 火災予防思想の高揚を目指す千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援する。

2. 教育訓練事業

消防・防災能力の拡充のため、消防職・団員の知識・技能の向上、消防操法に関する普及、訓練成果の発表及び消防関係機関の協力、連携等を図る。

(1) 消防団幹部を養成するため、消防団員指導員研修を実施するとともに、日本消防協会主催の各種研修会へ参加を促進する。

また、千葉県消防学校、千葉市消防学校及び消防大学校並びに日本消防協会への修学奨励のため、所定の課程を修了し又は卒業した者に対し、修学奨励金等を贈与する。

(2) 消防知識の一層の普及、消防技術の向上のために県と共催で地区予選として支部操法大会を開催し、県消防操法大会への出場チームを選抜する。

(3) 第55回千葉県消防操法大会を県とともに開催する。(2019.7.27)

(4) 総務省消防庁と日本消防協会が共催する第24回全国女性消防操法大会に参加するとともに、県代表チームに助成する。(2019.11.13横浜市)

(5) 女性消防団員の活性化を図るため、県内女性消防団員の意向を踏まえて、千葉県女性消防団員活性化シンポジウムを平成30年度に引き続き開催する。(2019.11.27)

また、第25回全国女性消防団員活性化青森大会に参加する。(2019.9.19～20)

(6) 消防関係機関との連携、連絡調整、意見交換などのため、会議の開催等を行う。

ア. 県下市町村消防長・消防団長会議の開催 (2019.7.11～12)

イ. 日本消防協会・関東甲信地区消防協会等の各種会議への参加及び開催

3. 弔慰救済事業

郷土防災の使命を果たしてその職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るため、第55回千葉県消防殉職者慰霊祭を実施する。(2019.10.25)

また、日本消防協会主催の第38回全国消防殉職者慰霊祭に参加する。(2019.9.12)

4. 報償事業

(1) 消防士気高揚等を図るため、消防防災に功労・功績のあったものに対して、消防協会長及び支部長による特別功労章、永年勤続功労章、功績章等の表彰を、千葉県消防大会及び消防出初式において行う。

5. 支部活動事業

協会の各支部において、それぞれ次の各事業を実施する。

(1) 地区操法大会

各支部の管轄する市町村・事務組合の設置した消防団の操法大会を県と共催で地区予選として開催し、優勝チームを地区代表として県大会に出場させるために所要の支援を行う。

(2) 表彰事業

各所管区域の消防職・団員に対し出初式等において、優秀な消防職・団員を表彰しその活動を顕彰する。

(3) 防災思想の普及事業

各所管区域の消防(局)本部・消防団と連携して、必要な防災思想普及を行う。

II 相互扶助事業

1. 消防団員等を対象とした共済事業及び健康増進事業

(1) 日本消防協会が実施している消防団員等福祉共済及び消防個人年金並びに全日本消防人共済会が実施している火災共済制度の事務処理を行い、各制度への加入を促進する。

(2) 消防団員の健康管理に資するため、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成する。

2. 弔慰見舞事業

職務において死亡・障害者となった者などに対し、その崇高な活動に報いるため弔慰見舞金等を贈る。

3. 退職者報償事業

退職会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、その功績に報いるため感謝状及び金盃を贈る。

4. あっせん事業

消防職団員の福利厚生の実現を図るため、日本消防協会から提供される各種物品等に係る斡旋を行う。

III 収益事業

1. 施設貸与事業

千葉県消防会館の空き室を、消防関係団体等に有償貸与して有効活用を図る。

2. 千葉県消防協会会館建設改良

千葉県消防会館は、建設以来45年を経過しているため、適切に維持管理する。

IV 法人活動事業

千葉県や(公財)日本消防協会等の諸会議及び諸行事に出席し、情報収集、意見交換等を行う。

平成31年度（公財）千葉県消防協会主要行事予定

	行 事 名	日 時	場 所
1	消防学校初任科第168期入校式	4月9日(火)	千葉県消防学校
2	地域振興事務所等における消防事務連絡会議	4月10日(水)	千葉県自治会館
3	千葉県婦人クラブ連絡協議会監査	5月9日(木)	消防協会会議室
4	千葉県少年婦人防火委員会監査	5月15日(水)	消防協会会議室
5	千葉県婦人防火クラブ連絡協議会役員会	5月17日(金)	ポートプラザちば
6	消防協会監事会	5月21日(火)	消防協会会議室
7	定時理事会	5月24日(金)	ポートプラザちば
8	千葉県少年婦人防火委員会役員会	5月31日(金)	ポートプラザちば
9	関東甲信地区消防協会会議	6月6日(木)～7日(金)	茨城県
10	定時評議員会	6月11日(火)	ポートプラザちば
11	消防長・消防団長会議	7月11日(木)～12日(金)	鴨川グランドホテル
12	第55回千葉県消防操法大会	7月27日(土) 予備日8月3日(土)	千葉県消防学校
13	第40回九都県市合同防災訓練・中央会場	9月1日(日)	船橋市
14	第38回全国消防殉職者慰霊祭	9月12日(木)	ニッショーホール
15	第25回全国女性消防団員活性化青森大会	9月19日(木)～20日(金)	青森市
16	消防学校初任科第169期入校式	10月3日(木)	千葉県消防学校
17	第55回消防殉職者慰霊祭	10月25日(金)	千葉県消防学校
18	消防職・団員定例表彰審査会	10月25日(金)	消防協会会議室
19	第24回全国女性消防操法大会	11月13日(水)	横浜市
20	消防団員指導員研修	11月16日(土)～17日(日)	千葉県消防学校
21	女性消防団員活性化シンポジウム	11月27日(水)	ポートプラザちば
22	臨時理事会	12月中旬	千葉市内
23	婦人防火研修会	2020年1月24日(金)	千葉県消防学校
24	第72回日本消防協会定例表彰式	2020年3月3日(火)	ニッショーホール
25	第70回千葉県消防大会	2020年3月17日(火)	青葉の森芸術文化ホール
26	定時理事会	2020年3月中旬	千葉市内
27	臨時評議員会	2020年3月下旬	千葉市内

勲芳千歳**第69回千葉県消防大会開催**

平成31年3月20日（水）、千葉市中央区にある「青葉の森公園芸術文化ホール」において第69回千葉県消防大会が行われました。

この大会は、県下消防職員・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図るため、千葉県、（公財）千葉県消防協会、千葉県少年婦人防火委員会の主催により毎年行われているものです。

当日は開会のことばに始まり、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうに続き、森田千葉県知事、石橋消防協会長の挨拶、黒田消防庁長官や日本消防協会長（代理銀川部長）等の来賓祝辞の後、それぞれの表彰と叙勲や褒章等の受章者の紹介が行われました。

それぞれ受章された方、またご家族の方、誠におめでとうございます。

第69回千葉県消防大会受章者等一覧

表 彰 種 別	表 彰 者 数
消防庁長官定例表彰	功労章 5 名・永年勤続功労章 97 名
千葉県知事表彰	特別功労章 15 名、永年勤続功労章 60 名、内助功労 39 名 少年消防クラブ表彰 1 団体、石油コンビナート等防災関係 2 団体
日本消防協会長表彰	特別表彰まとい 1 機関、表彰旗 1 機関、功績章 34 名、精績章 82 名、 勤続章 142 名
千葉県消防協会長表彰	特別功労章 8 名、永年勤続功労章 429 名、内助功労 333 名 功績章 33 名、表彰状 6 名、特別表彰 2 機関、感謝状 9 名
千葉県少年婦人防火委員 会長表彰	優良幼年消防クラブ表彰 1 クラブ、優良少年消防クラブ表彰 1 クラブ、 優良婦人消防クラブ表彰 1 クラブ
叙 勲 ・ 褒 章	春の叙勲 12 名、秋の叙勲 11 名、第 30 回危険業務従事者叙勲 31 名、 第 32 回危険業務従事者叙勲 32 名、春の褒章 6 名、秋の褒章 7 名、 文化の日千葉県功労者表彰 3 名



森田千葉県知事挨拶



石橋消防協会会長挨拶



黒田消防庁長官祝辞



吉本千葉県議会議長祝辞



知事表彰（少年消防クラブ表彰旗）



日消協会長表彰（特別表彰まとい）

第71回 日本消防協会定例表彰式

平成31年3月5日（火）、「第71回日本消防協会定例表彰式」が日本消防会館ニッショーホールで全国各地の消防団員、消防職員、消防協会関係者等の参加により執り行われました。

永年にわたる顕著な功績が認められ、特別表彰「まとい」10団を初め、特別功労章10名、優良消防団（表彰旗）39団、優良消防団（竿頭綬）92団、功績章949名、精績章2,266名、勤続章7,333名、優良婦人消防隊（表彰旗）13隊、優良婦人消防隊員（功績章）15名、都道府県消防協会等役職員永年勤続者表彰3名の表彰が行われました。



本県から石橋消防協会長をはじめ各消防団長、消防長が出席され、特別表彰「まとい」1団体（浦安市消防団）、優良消防団（表彰旗）1団体（習志野市消防団）、功績章34名、精績章82名、勤続章142名がそれぞれ受章しました。

東 西 南 北

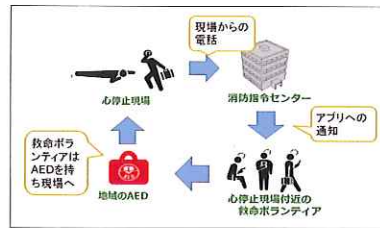
救命ボランティアによる AED 運搬システム実証実験開始 柏市

柏市では、AED の活用促進を目的とした連携協力を、京都大学、株式会社ドーン、日本 AED 財団と開始し、平成 30 年 12 月 1 日から実証実験を行っています。この取り組みは、市内に整備した約 400 台の AED と、AED を運搬できるボランティア、AED を必要とする救急現場について、スマートフォンアプリでマッチングし、救急隊よりも早く AED が使用される件数を増加させ、救命率の向上を目指すものです。

過去3年間のうち、柏市内で発生した心停止は 1,102 件です。うち AED が使用されたのはわずか 12 件でした。これは、心停止のうち目撃された心原性心停止 287 件の 4.2% に過ぎません。全国平均と同程度です。

救急隊到着前に AED が使用された場合の救命率は、12 件中 7 件で 58% です。

平成 31 年 1 月 15 日からは、ボランティアの登録を柏市内の救命講習を受講した市民にも拡大させ、AED の使用率の更なる向上を図ります。



歳末警戒に伴う一日消防署長の巡視 船橋市中央消防署

船橋市中央消防署では、年末年始の繁忙期を迎えた各事業所の安全管理体制を強化するため、平成 30 年 12 月 6 日 (木) 一日消防署長を任命して防火キャンペーンを実施しました。



今年の一消防署長は、船橋駅北口周辺の事業所による防火組織「船橋駅前北口ビル共同防火管理協議会」の会員事業所内から、第 18 代一日消防署長として、東武百貨店船橋店の中野あるまさんが選ばれ、船橋市中央消防署長から委嘱状の交付を受けました。

委嘱状交付後、一日消防署長と中央消防署長により各事業所を巡視し、消防用設備などの管理状況を確認するとともに、従業員の方々に火の用心を訴えました。

さらに東武船橋駅コンコースにおいては、中央消防署員と女性消防団員が防火ポスターなどの啓発物品を配布しながら防火キャンペーンを展開し、最後は船橋市消防局音楽隊によるクリスマスコンサートが行われ、音楽を通して広く市民の皆様へ火災予防を呼び掛けました。

人命救助者に感謝状を贈呈 習志野市消防本部

習志野市消防本部では、平成 30 年 12 月 17 日 (月)、心肺停止傷病者を救った人命救助者に対し、感謝状贈呈式を行いました。

当事案は、平成 30 年 9 月 13 日 (木) 市内遊戯施設店内にて、70 代の男性が心肺停止状態となり、従業員 2 名の連携により迅速に 119 番通報、胸骨圧迫及び店内に設置してある AED を使用しました。また当該施設においては、平成 29 年 6 月にも同様な事案が発生しております。

結果は共に、救急隊到着時には心拍が再開しており、「救命の連鎖」が引き継がれ、心肺停止傷病者の社会復帰につながりました。

このように、迅速な応急手当により、社会復帰された事例であることから、この功績を称え、この度 2 度目の消防長感謝状を贈呈したものです。



東西南北 医師、看護師を招聘した救急隊員研修会を実施 習志野市消防本部

習志野市消防本部では、平成30年12月12日(水)に医師、看護師を招聘した救急隊員研修会を実施しました。

この研修会では、千葉県済生会習志野病院循環器専門医、竹田隆一先生により基本的な解剖生理、代表的な循環器疾患及び救急搬送時の注意点について、また同病院集中ケア認定看護師、鎌田あゆみさんにより臨床推論で導く情報伝達について講義を受けました。

講義終了後には、九州研修所を卒業した指導救命士を中心としたシミュレーション訓練を行い、その後の検討会では九州研修所で学んだ評価方法にて訓練実施隊にフィードバックを実施しました。

今後とも定期的に研修会を実施し救急隊員の知識及び技術の向上を図って参りたいと思います。



東西南北 大規模物品販売店舗の歳末特別査察を実施 松戸市消防局

松戸市消防局は、平成30年12月12日(水)クリスマスや年末で繁忙期を迎え多くの人でにぎわう大規模物品販売店である株式会社ダイエー松戸西口店の歳末特別査察を実施した。

査察は、第一方面本部平川剛本部長が消防用設備等の維持管理、屋内消火栓設備の操作方法や避難通路の確保等を確認し、従業員が防火管理の重要性を再認識することを目的として行われた。

消防職員が、日頃から防火管理に取り組んでいる従業員に対して、火災発生時の対応確認を行ったところ、速やかに的確な行動ができ、消防職員の言葉に真剣な面持ちで耳を傾け「自分達の職場は自分達が守る」という自主防火管理の意識が、強く感じられた。



東西南北 救急実務研修 ～多数傷病者対応の訓練を実施～ 船橋市消防局

船橋市消防局では、平成30年12月12日(水)・13日(木)・14日(金)の3日間にわたり、救急隊員(128名)及び指令課員(18名)を対象に平成30年度救急実務研修を船橋市消防局救急ステーションにて開催いたしました。

今年度の研修は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、多数傷病者事故に対する消防機関の初動対応の重要性を再認識するとともに指令課通信指令員と合同で119番通報時から多数傷病者が想定される災害現場において指揮命令系統の確認及び救急隊の対応能力向上を目的としました。

研修内容として、指導救命士による講義と初動対応から傷病者のトリアージまでの想定訓練をブラインド形式により実施しました。

当市消防局では、今後も継続して救急業務に携わる職員の教育に取り組み、知識、技術の向上を目指すほか、市民から信頼される救急隊員、指令課員の育成に取り組んでまいります。



東 西 南 北 消防署車庫のシャッターを活用した広報活動を実施

千葉県消防局

千葉県美浜消防署では、平成30年12月21日(金)、日没後の車庫のシャッターを映画館スクリーンのように見立て、防災ビデオや職員が作成した広報ビデオを投影してクリスマスイベントを実施しました。

また、当日はサンタクロースから、子供たちへXmasプレゼントが手渡されました。

当署では、これからも地域に密着した消防署を目指し、火災予防や救急車の適正利用などの広報活動を継続していきたいと考えています。



東 西 南 北 平成30年度歳末消防長特別査察を実施

浦安市消防本部

浦安市消防本部では、平成30年12月21日(金)管内の大型ホテル施設であるオリエンタルホテル東京ベイにおいて、歳末消防長特別査察を実施しました。

この特別査察は、多くのゲストが訪れる施設において、火災予防及び事業所の防火意識の高揚を図ることを目的として実施したものです。

今回の特別査察では、防火管理状況を重点項目とするとともに、「外国人来訪者や障害者等が利用する施設における災害情報の伝達及び避難誘導等に関するガイドライン」に基づき導入された日本語、英語、中国語、韓国語の非常放送設備の多言語放送を確認しました。



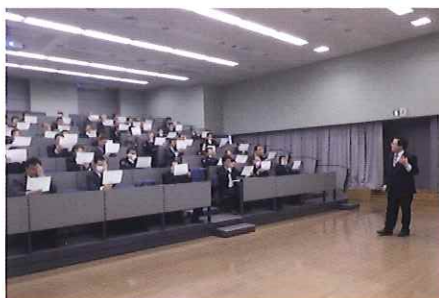
東 西 南 北 安全運転管理推進のために

千葉県消防局

千葉県消防局では、平成31年1月15日(火)、16日(水)の2日間、交通事故防止対策教育を開催しました。

この教育は、公用車における交通事故を防止するため、署所の管理職を対象に交通事故等が発生した場合に、管理者が対応しなければならない知識・技術を習得することにより、今後の交通事故撲滅の徹底を図ることを目的として開催しました。

講師として、SMAサポート株式会社の寺西 朗氏を招き「ヒューマンエラー対策や事故原因の具体的な対策方法、事故分析時の落とし穴」などの講義があり、安全運転管理者・安全運転責任者や所属係長にとって、今後、効果的な車両運用及び交通事故撲滅を図るうえで、有意義な研修となりました。



東 西 北 平成30年度遠距離送水システム器具取扱訓練 南 東 船橋市中央消防署

船橋市中央消防署（署長 中村 修）では、防災とボランティア週間に伴い、平成31年1月16日から3日間にわたり、富士興産株式会社敷地内において、遠距離送水システム器具取扱訓練を実施いたしました。

この訓練は、「阪神・淡路大震災」を教訓として整備された「遠距離送水システム」の資機材を迅速かつ確実に有効活用できるよう技術の更なる習熟を目的としたものです。

また、本市では地震対策事業として下水管及び雨水放流管などを利用して東京湾の海水を内陸部に引き込み消火活動に活用できる「海水等を利用した大規模消火システム」も整備しております。

今後も遠距離送水システム器具取扱の習熟を図り大規模災害に対応できるよう努めてまいります。



東 西 北 健康管理講習会を開催 南 東 佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合では、平成31年1月17日（木）、18日（金）の2日間、佐倉市健康子ども部健康管理課より講師を招き、健康管理講習会を開催しました。

講習会の中で、生活習慣病とその予防については、メタボリックシンドロームを防ぐための自分の必要なエネルギー量と1日に必要な摂取カロリーの計算方法、食事のポイント等を講義していただきました。

また、たばこ健康については2020年に施行される健康増進法の改正に触れるとともに、測定器で呼気中の一酸化炭素の濃度を測定して、喫煙者と非喫煙者の違いをわかりやすく説明していただいて職員も特に興味深く聞いており、健康管理に対する意識の向上が図れました。



東 西 北 床を利用した広報を実施！ 南 東 千葉市消防局

この度、市民の皆さんに応急手当の重要性を広く認知していただくため、株式会社千葉ショッピングセンター（C-one）の協力のもと、1月21日から約1か月間、店舗内の通路の床面4か所に、広報用のステッカーを貼付しました。

これまでの広報で行ってきた壁に貼り出すポスター掲示ではなく、新たに視点を変えて床面を活用したPRを実施しました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和元年 5月・6月

- 5月 17日 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会役員会(千葉市)
- 21日 千葉県消防協会監事会(千葉市)
- 24日 千葉県消防協会定時理事会(千葉市)
- 31日 千葉県少年婦人防火委員会役員会(千葉市)
- 6月 11日 千葉県消防協会定時評議員会(千葉市)



平成31年度 全国統一防火標語
「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

2019年 春の交通安全運動
 5月11日(土) から5月20日(月)
スローガン ～とび出さない いっただとまって みぎひだり～

<表紙の説明>

燈籠坂大師の切通しトンネル（富津市萩生）君津支部

弘法大師が行脚中に腰を休めたと言い伝えられる東善寺（富津市竹岡）の飛地境内地である燈籠坂大師に至る参道にある、高さ約5メートルの手掘りのトンネルです。

住職の話によれば、明治から大正にかけて掘られたとされており、その後、昭和初期に地元住民により、鋸山の石切の技法を用いた工事を行い、現在の形になったそうです。

その手掘りの壁面や光の明暗の様子から、近年、いわゆる「インスタ映え」するスポットとして人気を集め、多くの観光客が写真撮影等を楽しんでいます。

